



環境保全米通信



「環境保全米」給食始まったよ!



冬号

2021年1月発行



環境保全米の新米給食!
大郷町立大郷小学校にて。

【もくじ】

1. 「環境保全米」学校給食がはじまりました。
2. 「鍋布団」でご飯を炊こう!



みやぎの環境保全米とは?



環境保全米県民会議とは?

みやぎの自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を宮城県の標準的使用量(※)の半分に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを行う。それが「みやぎの環境保全米」です。

そんな「みやぎの環境保全米」を広めるため、県内の消費者・生産者・マスコミ・関係機関・団体が一体となり2007年に設立されたのが「みやぎの環境保全米県民会議」です。

※宮城県の標準使用量

化学農薬 17 成分、化学肥料(窒素成分) 7kg/10a

アンケート大募集

応募者プレゼントも!

くわしくは最後のページへ!!

1 「環境保全米」給食がはじまりました！

宮城県学校給食会によると、令和2年11月の学校給食への新米導入時期から、宮城県内（一部地域を除き）の、小中学校の学校給食用に「宮城県各地域産の『環境保全米』ひとめぼれ1等(特別栽培)」が提供されました。さっそく、環境保全米の新米給食を取材に、大郷町立大郷小学校を訪問しました。

 **大郷小学校からのエール!!** 佐々木勝美校長先生から、学校の紹介、「環境保全米」給食が始まったことの説明のあと、「とにかく学校給食を食べてください」とのことで、校長先生と食育主任の奥平大和先生と一緒に、「環境保全米」の新米を使った学校給食を頂きました。本日の献立は、「いわしの生姜煮、切り干し大根の煮物、白菜のみそ汁」でした。ごはんは、アルミの弁当箱に入っていました。大郷町を含む黒川郡管内の学校給食のごはんは、JA 新みやぎあさひな地区本部管内大郷町産の「環境保全米」です。大和町の（有）浅野製菓が、（株）パールライスで精米されたものを使って「五升釜」で炊き上げ、弁当箱に機械で盛り付けます。（有）浅野製菓の浅野正久社長によると、黒川郡管内では、11月7日から新米の「環境保全米」の学校給食に切り替えたとのことでした。ガス直火の「五升釜」で「環境保全米」を炊き上げると、香りが以前の米との違いを感じると話されていました。



大郷小学校の「環境保全米」給食の献立

 **弁当箱!** 弁当箱にご飯が入っていても、米と水を入れて蒸し上げる弁当箱炊飯方式ではないので、水っぽくなく、ごはんがとてもふわふわで、新米の香りが際立っています。大郷小学校では、7月16日から、コロナ対策もあって弁当箱方式に変わったそうです。佐々木勝美校長先生は、「弁当箱になって、最初から決まった量のごはんが盛られているので残さず食べるようになりました。以前は給食係の児童が盛り付けるのですが、どうしても少なめになり、ごはん容器に残食が目立っていましたが、今はおいしい『環境保全米』のご飯を残さず、しっかり食べていますよ」と話されていました。なお、大郷町の学校給食は、町長の公約で無料です。

 **チャイム!** 4時間目終了のチャイムが鳴りました。教室に行って子供たちの学校給食の様子を見に行きました。5年1組（佐々木健太先生）の教室では、給食の配膳が始まりました。まず、教室に給食の配膳一式が運ばれてきました。茶色の箱に、ごはんの弁当箱が入っています。給食当番が手際よくおかずやみそ汁を盛り付けていきます。



ごはんは上段の保温箱の中!



手際よく配膳しています!





いただきます！ 佐々木先生のいた



だきますで、給食が始まりました。

コロナ禍なので、グループ式ではなく、表紙写真のように授業の時と同じ机の配列で、子供たちは給食を食べています。机の間をめぐって、環境保全米のごはんはおいしいですかと聞いてみました。新米ですから、「おいしいよ」という声が出るのは当たり前ですが、今までのお米とは、違うかなと聞いてみると、「前のお米とは味が違うよ」とはっきり答えてくれる児童もいました。食育主任の奥平先生によると大郷小学校では、毎年大郷町で環境保全米を作っている「(有)グリーンファーマーズ」(郷右近秀俊代表)で、米作り体験の授業を行っ



「環境保全米」おいしいよ！

ていて、児童たちは、「環境保全米」の意味を知っているとのことでした。今年は、昨年の水害の影響のため環境保全米の水田が使えず、5年生は、飼料用米水田での稲刈り体験を行ったそうです。大郷小学校の校長先生をはじめ、先生方、5年1組の元気な皆さんから、「環境保全米」給食へのエールを頂きました。



給食センターからのエール!! 大郷小学校の近くの大郷町学校給食センターに伺って、栄養教諭の岸本由香さん

にお話を聞きました。「環境保全米」に代わって、子供たちからの反響がいいし、弁当箱で食べやすいのもあって残す量が減って、よく食べていますとのことでした。岸本さんからは、環境にやさしい環境保全米の給食は食育にいいですねとエールを送っていただきました。大郷町では、週1回のパン給食でも、地元産の米粉を7割使った米粉パンを使っているそうです。米粉パンは、社会福祉法人みんなの輪のわ・は・わパン工房で作られています。



生産者からのエール!! 「環境保全米」の宮城県の小中学校の給食への一斉使用について、生産者はどのような思

いなのかを取材するために、宮城県農協青年連盟委員長の佐々木大(ゆたか)さんを訪問しました。佐々木さんは、大崎市田尻町でお父さんと環境保全米12haと菌床シイタケ栽培や玉ねぎなどの野菜生産を行っています。青年部活動で、大貫小、田尻小の学校田での指導や生き物調査による交流を行ってきました。佐々木さんは主にシイタケ栽培を担当していますが、小学校からシイタケ栽培の見学に来るそうで、事務所の壁には小学生からの手紙が張られていました。3人の小学生と幼稚園児のお父さんでもある佐々木さんからは、県内全域の小中学校の給食で「環境保全米」が使われたことをとても喜んでいて、これを機会にみんなが環境にやさしい米作りや農業に関心を持ってほしいとエールを送ってくれました。蕪栗沼にやってくる雁や白鳥がやってくる水田の景観を保全するために、消費者の支援・連携を期待されていました。特に消費者に生産の現場をもっと知ってほしいと強調されていました。

もうひとり、JAみやぎ登米の佐々木裕幸さんにもお話を伺いました。待ち合わせ場所の登米ICから中田町浅水のお宅



子供たちから送られたお手紙の前で

まで、ズーっと水田が広がっています。途中、田んぼのあちこちで渡り鳥が、落穂を食べていました。佐々木さんの経営は、環境保全米の水田10haと親牛12頭の和牛繁殖との複合農業*です。集落の75世帯のうち、農家は12戸で、残っているのは、佐々木さんのような複合農家と大規模農家だけです。環境保全米の学校給食が始まって、渡り鳥のやってくる田んぼの景観が守られるのは、とてもうれしいですが、それを支えている農業・農村にも関心を持って欲しいと語っていました。一緒にいたおばあちゃんが、「まわりの農家の空き家が増えて寂しい」とつぶやいていました。

*複合農業：水稻と他の作物とを組み合わせた経営

2『鍋布団』でごはんを炊こう！ 生協あいコープみやぎ

農業、化学肥料の使用量を出来るだけ減らし、安全・安心なお米をさらにおいしく炊ける『鍋布団』をご紹介します。あいコープみやぎには「脱原発エネルギーシフト委員会」があり、日々の暮らしの中のエネルギーの使い方を見直しながら節電、再生エネルギー促進のアイデアを発信しています。その中でも特におすすめなのが『鍋布団』です。余熱調理や保温に使えて、加熱時間を大幅に減らすことができます。鍋布団は、古くなった毛布やフリースなどを中に挟み込んだ長座布団のような布を二枚十字に重ねて作りますが、作るのが難しければバスタオルや毛布で包むだけでも代用できます。どちらも、汚れ防止、保温効果を高めるために1日分程の新聞紙を中に敷いて使います。おいしく炊けて環境にも優しい鍋布団炊飯、是非一度お試しください。(アメニティ・せんだい推進協議会主催のエコフェスタ2020 WEB サイト内で鍋布団の作り方、ご飯の炊き方を動画で紹介しています。<http://www.ecofesta2020.jp>)



炊飯方法

- ①厚めの鍋に研いだ米と同量の水を入れ、30分以上浸水します。
- ②中火で加熱し、沸騰してぶくぶく泡がたち、いい香りがしてきたら火を止めます。
- ③鍋ごと鍋布団でくるみ20～30分蒸らしてできあがりです。



★夏のアンケートから 学校給食。子供もパンフレットを持ち帰ってきました。逆に今までそうではなかったことに驚きました(多賀城市Aさん)。環境保全米学校給食が始まります。こどもが学校から環境保全米のチラシを持って帰ってきました。ほかのお母さんともその話題になったので覚えており、興味をもちました(仙台市Sさん)

ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、
環境保全米2kgを10名様に

- Q1** 興味をもった記事は？その理由も。
Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

・アンケートの回答 ・希望のプレゼント ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号

いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理し、プレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切

2021年2月26日 ※抽選結果は発送をもって代えさせていただきます。

●応募先

NPO 法人 環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JAビル別館 5F

TEL 022-261-7348 FAX 022-261-7488

Email okome@epfnetwork.org

URL <http://www.epfnetwork.org/>

環境保全米

検索

【アンケート記入例】

●アンケートの回答

Q1)-----

Q2)-----

●名前 保全米 太郎

●年齢 40 歳

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉
1-16-3

●電話番号

022-261-7348